

Mamiya Gallery

Vol.
16
2009



MCCフォトコンテスト 17 入賞作品



総評

MCCフォトコンテストも17回目を迎えました。今回も応募作品からは銀塩フィルムへの熱い思いが伝わってきて審査には一段と気合が入りました。

ひとつ気になったのはプリントの質が以前より落ちてきたように感じられた事です。デジタルフォト時代になってから銀塩ダイレクトプリントの窓口が少なくなり、皆様苦勞をされている事でしょうが、プリントを評価する目をしっかり養って質の管理に心掛けて欲しいと思います。

これからも、中判カメラと銀塩フィルムの醍醐味を作品に生かすべく様々な工夫をこらして撮影を楽しんで下さい。

日本写真家協会会員 原 弘男

金 賞

『朝霧の中で』

寺島 栄一(茨城)

霧の彼方に富士の姿が浮かびあがり、静かで幻想的な作品です。富士山を中央に置いたシンメトリーな構図が絶妙で視線が中央に注がれ、訴求力が強くなっています。

マミヤ7 N43mmF4.5L f8 1/30秒 ヘルビア50 PL







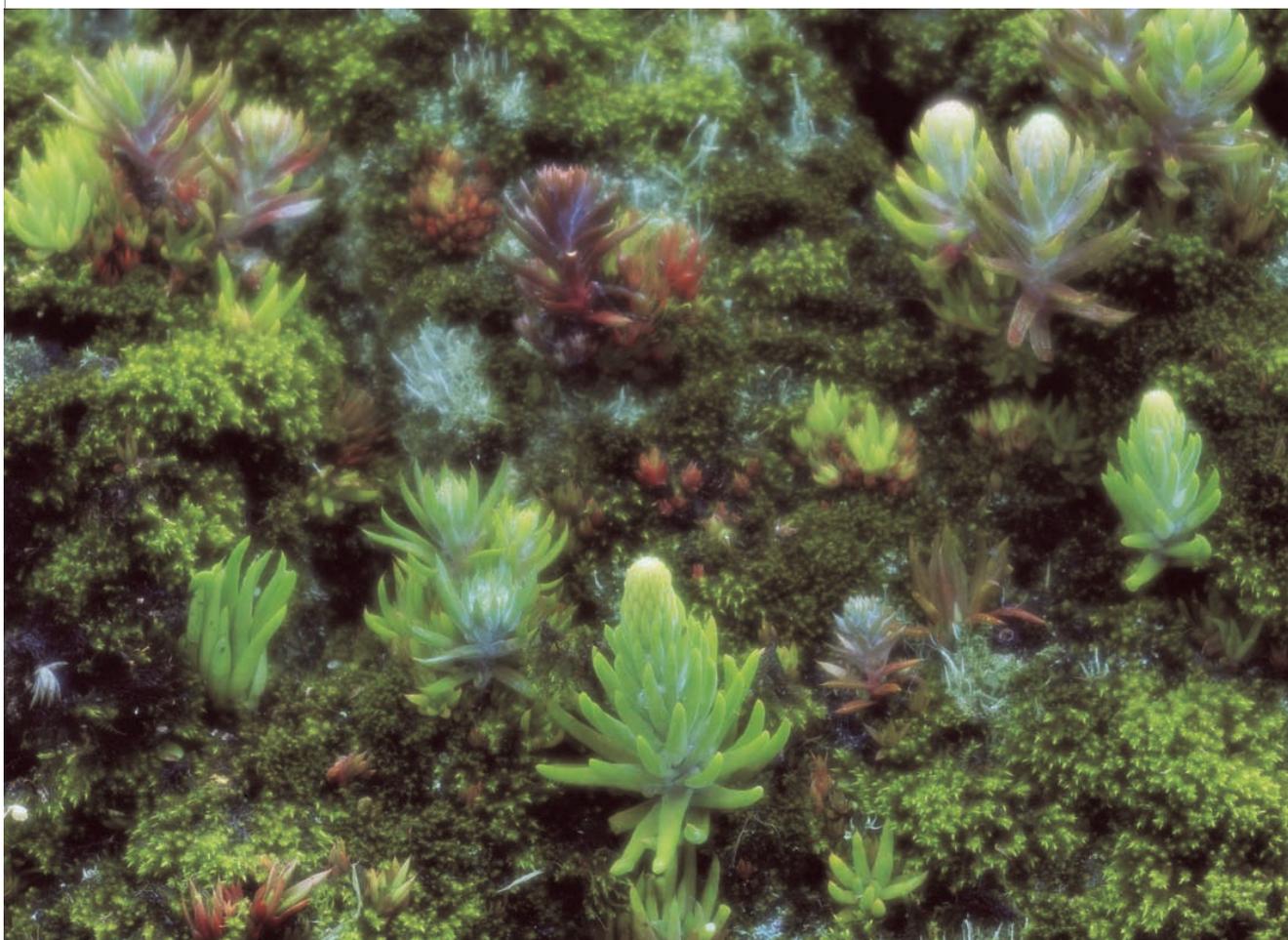
銀 賞

『芽吹き』

中田 友一(栃木)

少し肌寒さを感じる花冷えの頃の情景が伝わってくる作品です。広い景色の中からこの部分だけを切り取ったフレーミングの巧みさと細かい観察眼の賜物です。

RZ67プロ Z360mmF6W f11 1/15秒 ヘルビア100



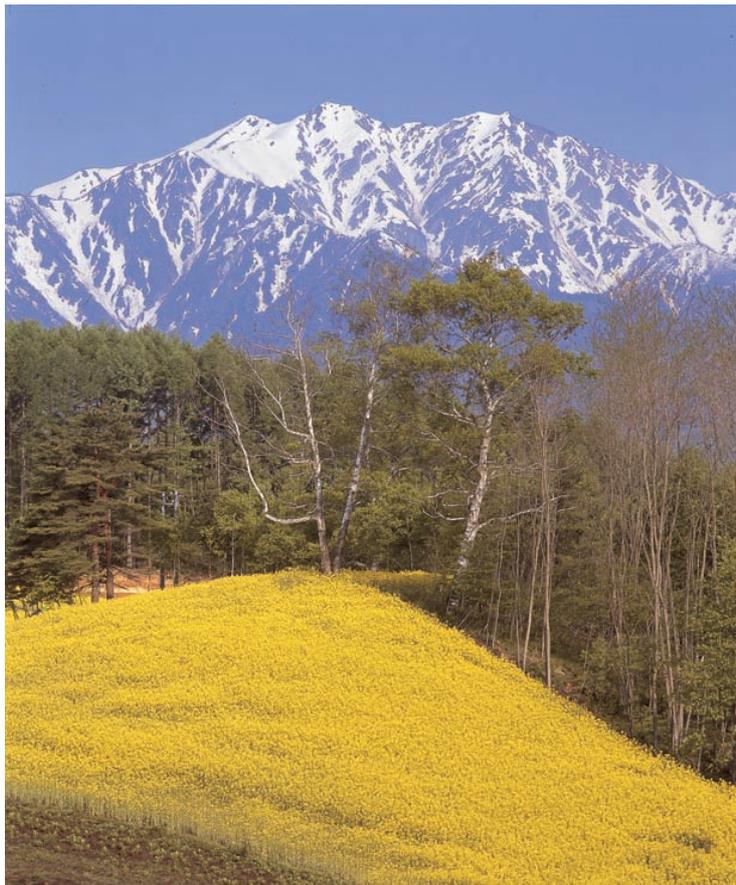
銀 賞

『自生する』

川野 豊彦(広島)

何気ない被写体がソフトフォーカスレンズと色調強調フィルターの効果で不思議な世界に変身して、まるで珊瑚礁の海中を覗いているような美しさを感じます。

645プロTL SFC145mmF4 f5.6 オート E100VS グリーンハンサーライト



銅 賞

『北国の春』

太田 秀男(長野)

まさしく題名どおりの「北国の春」で、春を迎えた喜びが画面全体に溢れています。菜の花と残雪の山並みのバランスがよく、構図にもリズム感を感じます。

RB67プロS KL250mmF4.5L-A f22 1/15秒
ベルビア100 PL



銅 賞

『水 華』 井川 クキ子(東京)

氷を染めているピンクの模様が不思議な雰囲気をかもし出し、キャッチライトの光芒がアクセントとなり写真を引き締めています。このピンクと水滴の部分を中心にアップして撮影されたら、さらに面白さが増してくると思います。

645AFD マクロMF120mmF4 f32 1/3秒 ベルビア100



コダック賞

『黄金色の夜明け』 山崎 泰(栃木)

撮影のタイミングが良かったので光と影のバランスがとれて遠近感が強調されています。池の微妙な反映やナナカマドの朱色など、中判ならではの描写力をうまく使っています。

RB67プロSD KL90mmF3.5L f22 1秒 E100VS PL



入 選

『春風』 武藤 繁一(滋賀)

揺れる桜をスローシャッターでブラした表現が効果的でした。幹の枝振りがよかったことが画面を引き締めています。さらに、もっとブラしてみるのも一案かもしれません。

RZ67プロII マクロM140mmF4.5W/L-A f8 8秒 ベルビア100 UV



入 選

『秋 光』 富野 順一(広島)

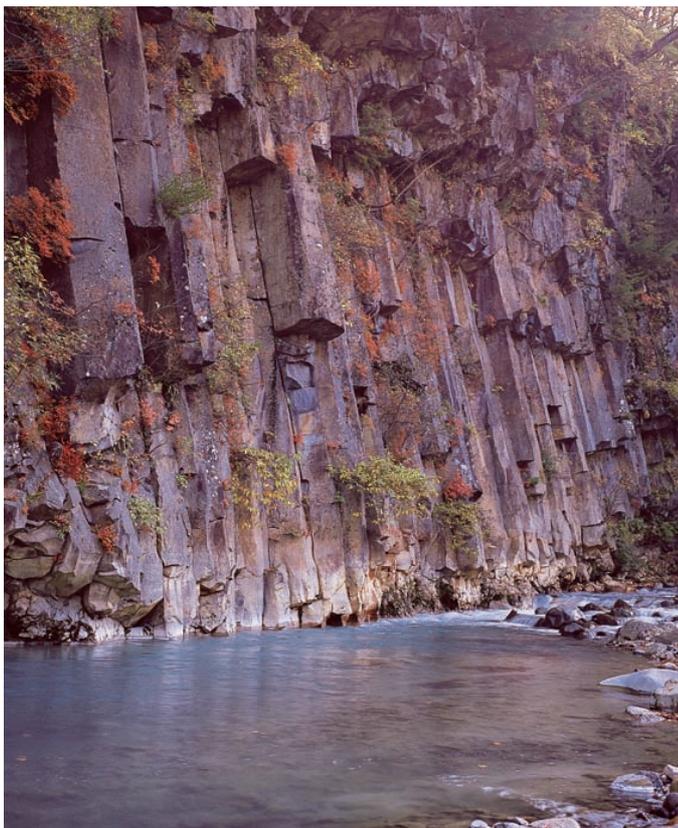
夕方の斜光線で彼岸花の朱色が強調され立体感もよく出ています。画面が上下で二分している感もあるので上部の木の半分程をカットすると彼岸花の印象がより強くなるでしょう。
RB67プロS C100-200mmF5.2W f32 15秒 ヘルビア50



入 選

『晩秋の尾瀬』 井澤 信夫(埼玉)

草紅葉と水草とのバランスがよく、部分ながら尾瀬の池塘の様子がうまく表現されています。画面手前が少し被写界深度外なこと、黒い部分が多いので、下部を少しカットすると画面が引き締まります。
645プロTL C105-210mmF4.5 f22 オート ヘルビア100 PL



入 選

『柱状節理の秋』 佐藤 進(東京)

紅葉に彩られた柱状の岩と青い流れの対比が綺麗です。構図も安定しています。ただ、光線の向きが悪かったのかハレーションが出ているため、コントラストとシャープ感が少し弱くなってしまったのが残念です。

マミヤ7Ⅱ N80mmF4L f11 オート フォルティアSP



入 選

『咲き競う』 萩野 信典(神奈川)

花の咲き具合が良いので写真全体にボリューム感が出ました。花の重なりのリズム感や、花と流れの対比といった要素を作品に生かすために手前側の花を中心にフレーミングしてみるのも良いでしょう。

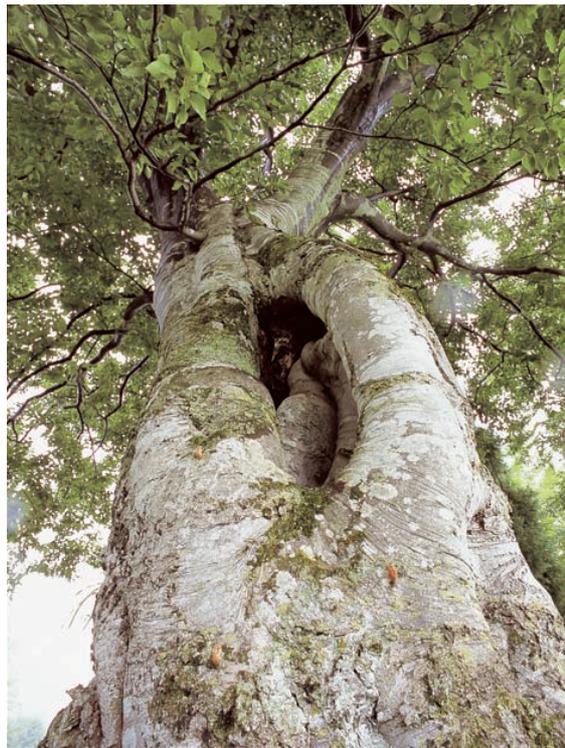
マミヤ7Ⅱ N50mmF4.5L f22 オート ヘルビア100 UV



入 選
『朝 陽』 荒川 信利(埼玉)

朝焼けの露出はぴったりでしたが、棚田が暗くなってしまいましたね。あとわずかに太陽が昇ると、もう少し露出差が少なくなったかも知れませんが。ハーフNDフィルターを使うという手もあります。構図やフレーミングはよく計算されている作品です。

RZ67プロSD KL250mm F4.5L-A f16 1/30秒 E100VS PL



入 選
『夏の思い出』 鈴木 洋一(新潟)

超広角レンズでデフォルメされたブナの形が面白く、蟬の抜け殻も良いアクセントになっています。題名の「夏の思い出」というイメージでしたら晴天の強い光の方が良かったかも知れません。

645AFD AF35mm F3.5 f16 オート+0.7補正 ベルビア100



入 選
『朝の流雲』 小田 薫(東京)

自然現象の妙をよいタイミングでとらえています。見た目は綺麗ですがこの中に入ったら怖いでしょうね。流れる雲海もさることながら、逆光の光線が良かったのと背景の槍ヶ岳の存在感が光ります。

マミヤ7Ⅱ N150mm F4.5L f11 オート ベルビア100 SL



入 選

『はるの陽』 中村 稔(長野)

粗壁のままの土蔵か、納屋でしょうか。どこか懐かしい匂いや日だまりの温もりを感じさせてくれる作品です。手前に配した木など画面構成がしっかりとっていてデザインとしても面白い作品です。

645AF AF55-110mmF4.5 f5.6 1/60秒
ベルビア50 PL



入 選

『静 寂』 松川 重治(東京)

自然の造形の面白さをうまくフレーミングにとらえています。シャッタースピードが2秒なので降る雪が流れていますが、高速シャッターで雪を止めて見せると、動と静の対比が生きてきたかも知れません。

RZ67プロ Z50mmF4.5W f22 2秒
ベルビア50 テレコン使用

MC Photo Contest

写真の醍醐味、多彩な個性の競演……
それがMC Cフォトコンテスト。
第18回の応募期間は
2009年4月1日(水)～5月30日(土)です。
写真テーマは自由です。ふるってご応募下さい。

総評

今回の撮影会は久々の雨で撮影ができないかと危惧しましたが、初日は雨よけの樹海撮影、翌日は晴れて何とか奥庭の撮影ができました。天候の為、午後に行くはずだった奥庭が午前になり、光線状態が難しくなってしまう、また変化の多い天気に関わされたでしょうが何とか撮影ができ、ぼっとしています。

応募作品に関しては、今回は全体にピントを合わせる位置が悪く、構図が良いのに選にもれた写真が多くありました。せっかく中判カメラを使っているのに、もう少し自分の狙いを明確にし被写界深度を考えて撮影されたほうが良いでしょう。

花畑 日尚



金賞

『唐松ヶ原』 入江 貞義(愛媛)

唐松の造形美や富士山に目が行きがちな場所で、樹林を模様としてパターン的にとらえたことが功を奏しました。あえて富士山を入れなかったこと、空をカットしたことでそれがより引き立ちました。

マミヤ7Ⅱ N210mmF8L f22 1/60秒 E100VS UV



銀賞

『樹海富士』 浦上 景一(東京)

樹海の中で苔むした木の根を見つけだし、富士山に見立てた審美眼がすばらしく思います。大きくアップで撮りたくなるのですが周りを入れたことで樹海の雰囲気が出ています。露出も良かったと思います。

マミヤ7Ⅱ N80mmF4L f22 オート ベルビア100



銅賞

『季 秋』 古関 良一(東京)

樹海では植生から季節感を出しづらいのですが、落ち葉を入れてうまく季節感を表現しています。少しオーバー目の露出ですが樹海の中の暗さが消されたことでより効果が上がっています。

645AFD AF35mmF3.5 f8 オート-0.7補正 ベルビア100



銅賞

『明けゆく』 古谷 栄次(東京)

思い切ってワイドレンズで撮影されたことが効を奏しました。太陽が湖面に反射していますが良い露出になっています。上下をシンメトリックに配置し、うまくバランスを取っています。

645AFD AF35mmF3.5 f22 1/15秒 ベルビア100 UV

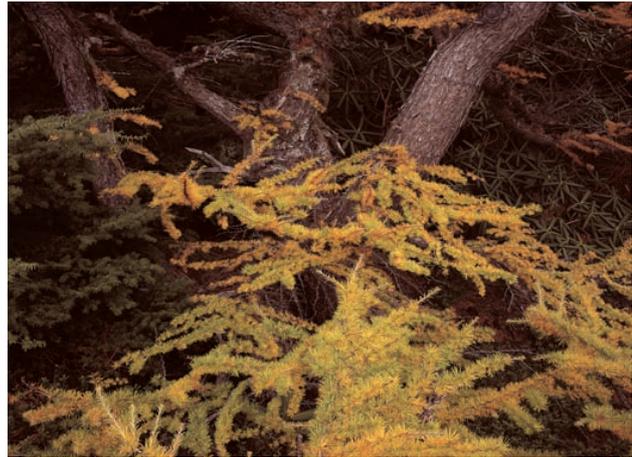


JTB賞

『樹海のたくましい根茎』 萩野 信典(神奈川)

良いポイントを見つけて撮影されています。構図やレンズ選択は良いのですが、被写界深度が浅くて肝心の樹の上部がアウトフォーカスになっています。もう少し絞り込んでピントがきていれば金賞を争ったでしょう。

645AFDⅢ AF35mmF3.5 f5.6 0.7秒 E100VS UV



入選

『彩 秋』 川又 正卓(東京)

切り取り方の妙と色彩の配置が見事です。強風によって造られた面白い形の木が並ぶ中、思い切ってこの部分だけでうまくまとめています。

12SWA マクロジマー-120mmF5.6HM f11 1/60秒 プロビア100F

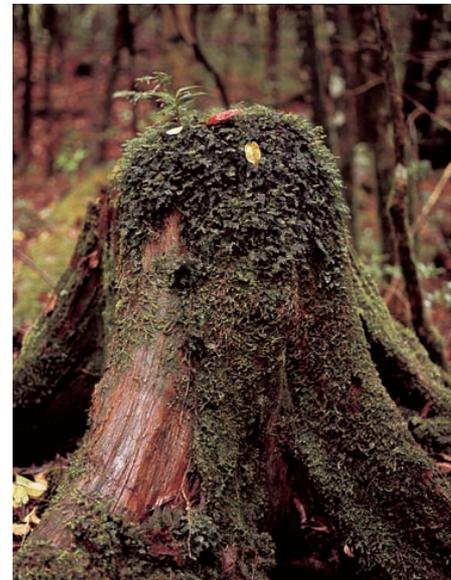


入選 『秋』

佐久間 弘(東京)

唐松の黄葉を主役にたて、富士山を引き立て役にしたところが良かったと思います。6×7cm判の正方形に近いフォーマットの縦位置がこの構図を安定させています。

RB67プロS マクロKL140mmF4.5M/L-A f22
1/30秒 プロビア100F



入選

『新しい命』 行川 征子(埼玉)

木の株についた苔をアップにして撮影していますが、赤と黄の枯葉がポイントとして効いています。題名になっている木の芽にピントがきていないことが難点ではありますが、狙いは良かったと思います。

645AF AF55-110mmF4.5 f4.5
オート-0.7補正 プロビア100F



入選 『妖 木』 佐々木 豊作(東京)

枯れ木を大きく扱ったのが良かったのですが、さらに強調するために、もっと近寄り、上部は唐松の半分ほど、左は土のスペースまで切ってアップにしたほうがさらに良くなった事でしょう。

645AFDⅡ AF45mmF2.8 f5.6 オート ベルビア100



入選 『ポーズ』 松野 敏秀(東京)

露出が多少明るめですが、唐松の美しさに感わされず上部を切り、枯れ木に焦点を当てたフレーミングが良かったです。両端の空の隙間が気になるので、さらに上部を切ったほうが枯れ木の白さに目が行きやすくなったと思います。題名のポーズとはどんなポーズを想像して撮ったのでしょうか？

645ProTL C55mmF2.8N f22 オート E100VS



プロユーザー訪問

コントロール

池谷 友秀

(いけたに ともひで)



私は主に雑誌や広告で人物の撮影を仕事としています。
自分の作品作りでも、スタジオで撮影する事が多く、やや固めのライティングをしたシャドー部の多い写真が好きです。その為、つぶれやすいシャドー部のディテールをきちんと表現で来ている事が重要です。なおかつ、モデルの一瞬の表情を逃さない事を大事にしています。

MAMIYA ZDはシャドー部のディテールに強く、秒間1.2コマとレリーズ間隔も短いので非常に使いやすいカメラです。表紙に掲載している海辺のモデルの写真はRZを使ったフィルムでの撮影ですが日中シンクロをしています。そんな時にはRZのレンズシャッターがとても役に立ちます。

1974年 神奈川県生まれ

2002年 フリーカメラマンとして活動開始

「コントロール」をテーマに撮り続ける写真家。

趣味のスキューバダイビングで水中写真家と出会い感銘を受けた事がフォトグラファーになるきっかけともなった為、水に関する写真が多い。

権威ある世界最大のフォトコンペティションInternational Photography Awards 2007のBest of Showに選出され、NYをはじめ海外でも評価が高い。

Award

International Photography Awards 2007 1st place in Advertising (self promotion)

PRIX DE LA PHOTOGRAPHIE PARIS "WATER" Competition 2008

Honorable Mentions for "WAVE"&"BREATH"

Exhibition

Mar-Apr.2007 "Suiiu" at CAMARADA (Tokyo)

Oct.2007-2008 IPA "Best of show" (Global)

May.2008 IPA "Best of show Portrait Edition" at Farmani Gallery (NY)

July.2008 "BREATH" at epSITE (Tokyo)

Dec.2008 "BREATH" at Nagaoka Institute of Design Gallery (Niigata)

Feb.2009 "y-generation -six rising photographers Exhibition" at ShibuyaSEIBU (Tokyo)

<http://tomohide-ikeya.com>



マミヤZD マクロMF120mmF4



マミヤZD AF55mmF2.8



マミヤZD AF80mmF2.8



マミヤ7IIで中判スナップ

前編

講師 山崎 正路

昨年からマミヤ7IIのスナップ体験セミナーという講習を行っています。今回から2回に分けてその講習時に撮影した写真をベースにマミヤ7IIでのスナップ撮影についてお話したいと思います。講習に参加頂いた方には復習として、参加いただけなかった皆様にもマミヤ7IIの使い勝手の良さやレンジファインダーの面白さ、短焦点のレンズワークなどをご理解いただければと思います。



マミヤ7IIはフィルムカメラの基本がわかる単純で高品位な機構を持ったカメラです。カメラらしいスタイルは安定性が良く、レンジファインダーの為ミラーショックもありません。連動距離計を使った撮影、被写界深度を利用した目測の撮影法など、簡単で分かりやすいカメラです。レンズも単焦点レンズのみでズームレンズはありません。

単焦点レンズにはズームレンズの様に安易に画角を変えると

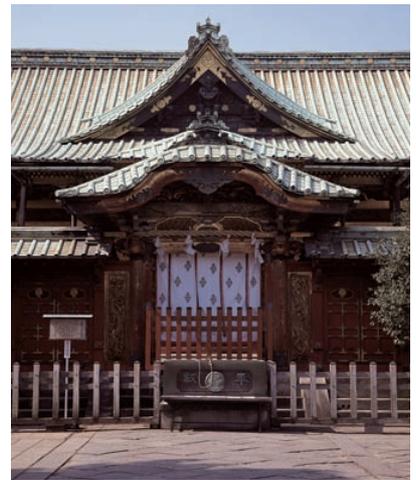
言う訳にはいかないで、撮影方法で望遠的に見せたり広角らしさを感じさせられる様なレンズワークも必要です。デジタル写真のようにいくらかでも撮れる訳でもなく、残り枚数を気にしながらの撮影は一枚入魂の技術が身に付きます。デジタル世代でも楽しめるカメラで、実際に若年層で興味を示す方も多く、デジタルとの住み分けのできるフィルムカメラだと思えます。是非楽しんでみてください。



被写体とカメラの向き

カメラは被写体に対しまっすぐ平行に構える

カメラはブレない様に安定させて構えます。建築写真では基本となる事ですが垂直線の確保がポイントです。建物が入る場合はスナップなどでも有効で、きっちりと縦の線を垂直に出す事により中途半端な印象がぬぐえます。歪曲収差の少ないマミヤ7IIのレンズは特に有効です。



N80mm



N50mm



N80mm

アオリカメラのように使う

前項のようにカメラを傾けず、建物に対し平行に撮影したいので、広角レンズを使います。撮影後に下部の不要部分をトリミングし画面構成をします。この使い方は大判カメラでライズするのと同じ理屈です。フィルム面積が広いので、このトリミングでも6×4.5cm判ほどの面積があり、画質は十分に保てます。このような方法で垂直を出す事もできるという一例です。



N50mm 建物に対し平行に撮影



下部をトリミング

思い切った斜め撮り

広角レンズでは遠近感が強く出ます。画面のバランスやデザインの効果を狙うのであればあえて垂直を無視するという方法もあります。

動きがありデザイン的なパターンを見せるには効果的です。垂直をきっちり出すときは出し、傾けるなら思い切って傾ける。中途半端にならないようにする事がポイントです。



シャッタースピードは幅広く使う

マミヤ7Ⅱのレンズシャッターは最高速度1/500秒までです。1/4000秒のある645AFDⅢにはかありませんが1/500秒でも被写体の動きを止める事が出来ます。

スローシャッターと高速シャッターを上手く使い分ける事も写真にとっては重要です。レンズシャッターのカメラはバルブなど長時間の露光中でも被写体が見えるという特徴もあります。露光中に画面に人が入ったりする事なども確認が出来ます。

レンズシャッターのマミヤ7Ⅱは、ミラーショックもなく1/15秒の手持ち撮影でもご覧のようなブレのない写真が撮れます。



N80mm 1/500秒



N80mm 1/15秒



N80mm バルブ

レンジファインダーのボケ表現

中判カメラの大きなボケ味は魅力です。レンジファインダーカメラでは実像が確認できないのでボケは使えないと思われるようです。

作例のように80ミリレンズの最短撮影距離と絞り開放を組み合わせると背景がボケて主役を浮かび上がらす効果もあります。

150ミリではより効果的のはずですが。頭の中で仕上がりをイメージしながらの撮影です。



N80mm 絞り開放

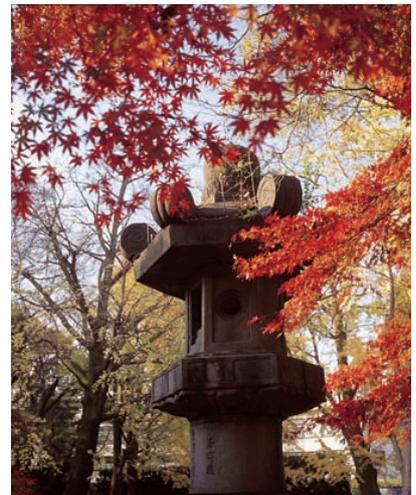
時季を変えて撮影してみる

同じ場所でも季節が写真を変えてくれます。写真が上手くなる為には、飽きずにいかに長く続けられるかもポイントの一つです。

経験値が増せば色々なものが見えてきます。色々な季節でカメラを片手にスナップする。一度しか行かない風光明媚な観光地だけでは、なかなか良い写真にはなりにくいものです。身近な所で楽しめるのもスナップの良さです。



N80mm



N80mm

人を入れる時の注意

スナップ撮影ではその場その場の空気を読む必要があります。

撮られる側は無防備ですし、撮られたくない人も多くいます。中判カメラは大きいので堂々と撮影したほうが良いでしょう。撮られている側の人々が写る事を意識してくれる場合もあります。

ただ人だけに気を取られず前景や背景もしっかり写し込む事で、場所や時間その場所の状況も分かります。



N50mm



N50mm



N80mm

次回後編ではスナップにおけるフィルム選択とレンズワークについてお話しします。



デジタルで雪山と山麓と



マミヤZD(2130万画素)AF ULD210mmF4 f16 AE PLフィルター使用 ISO100相当にて使用 プリンタ エプソンPM-G860

マミヤのデジタルは、暗部の描写にやさしく、明るい雪のハイライトもディティールフルに描写することがわかりました。

作例をみて下さい。撮ったところはフンザ(カラコルム山脈前衛)で、中央はフンザパック、左の尖峰はレディースフィンガーといわれています。カリマーバードという集落の上部イーグルズネスト展望台からの眺めですが、氷河をいただく山稜部と、中景前景の雪のないポプラやあんずの彩林、草原、常緑の樹々がほどよい階調で再現されています。ことに新雪の氷河の質感にご注目下さい。

実はこれ、マミヤのZD デジタルカメラの設定はピギナー向き、ごく普通に撮影したもの(JPEG)です。

デジタルというすぐ、画像処理をしないとソンだという向きがあって、やたらイジるのが流行ですが、これはあくまでもストレート、でもこの位ナチュラルな表現が出ればそれでいいのではありませんか？実景に比してこれが実感ということ。何をイジ

る必要があるの？という位完成度が高い。つまりこれがZD(またこれと同性能のデジタルバッグ)の実力だと思います。

この場合ZDではJPEGとRAWを同時に撮りました(その上ブラケットまでやった)。それでわかったのはZDは暗部にやさしく、雪のハイライトもディティールフルだったということ。ただし、デジタルの特性としてキラキラ反射のようなハイライトには弱い。だから露出オーバーはよくないのです(その代わり暗部には充分な描写力がある)。

つまり、こんな風景を撮るならハイライトをギリギリに押さえれば、暗部は充分キチンと描写してくれるということです。

もしハイライトを更に主観的に表現するのだったら、その時はRAWを使い、付属のソフト「マミヤデジタルフォトスタジオ」を使用するのがベストです。



マミヤカメラクラブ、コダックフォトクラブ、ペンタックスファミリー合同

ポートレート&ネイチャー撮影会 審査・評 野沢 勝

東京 2008年11月15日(土) 国営昭和記念公園

大阪 2008年11月30日(日) 花博記念公園 鶴見緑地

総評

今回からはポートレートだけでなくネイチャー撮影も実施されました。紅葉や秋の草花を三脚を使ってじっくり撮影している姿が印象に残りました。ほとんどの応募写真がピントも露出もしっかりしていたのですが作者の意図や思いが画面から感じられる作品が少なかったのは残念です。ただ綺麗に撮るだけでは作品とは言えません。そのことをいつも念頭に置いて撮影に臨んで下さい。



最優秀賞 『さみしいの』 橋本 延将(大阪)

ボケの美しさで定評のある単焦点レンズの特徴を上手く活かして作画しています。明暗差が大きいのでレフ板の光を強めに当てていますが、デジタルより懐の深い再現力を持つフィルムによって、肌色がしっかり描写されています。

ペンタックスZ-1p エクタクロームプロE100G



優秀賞 『一輪』 守屋 康弘(東京)

上部の枝がここに無かったら守屋さんは写さないとと思うし、私も選びません。図鑑写真と作品に違いがあるのは確かだし、この写真には枝を含めた空間に作者の意図が読み取れるのです。

ニコンF6 エリートクローム100 エクストラカラー



優秀賞 『ポートレート』 藤川 政秀(神奈川)

色づいた枝葉と人物をV字に配した画面構成がいいですね。意外と難しい手の位置や表情も控えめなポージングで心地良いし、ナチュラルな色調や柔らかいトーンも、この女性の雰囲気ピッタリ合っています。

ペンタックスK200D



優秀賞 『異空間へ』 坂本 浩志(大阪)

人物よりオブジェの印象が強い写真ですが、作者は「見るのではなく想像して欲しい」と思い写しています。坂本さんはタイムマシンをイメージしたようですが、私は巨大な食虫植物のように見え、爪が閉じた後の彼女の運命にまで想いは巡ります…。観者に発想力を要求するこうした写真、私は好きです。

ペンタックス K100Dスーパー

入選

| | | | | | |
|--------|-----------|--------|----------|-------|-----------|
| 視線 | 對比地連吉(群馬) | 落ち葉の上で | 瀬川誠一(東京) | 紅葉の中 | 石田裕一(大阪) |
| 秋の詩 | 川井美代子(千葉) | みて | 高橋慎春(長野) | 瞳 | 若松日出夫(大阪) |
| 秋風 | 安藤昇(東京) | 視線 | 山根昌廣(大阪) | 輝きの中で | 岩見逸利(大阪) |
| ポートレート | 田中一郎(東京) | 秋 | 林正祥(大阪) | 白い秋 | 鎌田逸也(兵庫) |
| 秋深まる | 片桐八十八(東京) | 思く見詰める | 宅田弘(大阪) | 忍ぶれど | 伊原和男(岡山) |



マミヤ7Ⅱスナップ体験セミナー

講師:山崎正路先生

2009年1月30日(金) 東京
2月 6日(金) 大阪
2月19日(木) 名古屋
2月27日(土) 京都

マミヤ7Ⅱを使ったスナップ体験セミナーを4都市で開催しました。マミヤギャラリーのフォトテクニックノートでもおなじみの山崎正路先生を講師に迎え、午前中撮影した写真を即日現像し午後から講評というスタイルで行いました。参加者の方々からは「中判カメラでこんなに手軽にスナップができるとは驚きました」、「風景しか撮影することがなかったのですが、目からウロコが落ちました。写真を撮る上でとても勉強になりました」と沢山の声寄せられました。また九州や東北でも行う予定ですのでお近くの方はご参加ください。



名古屋会場:吉池純さん



大阪会場:野村佳世さん



大阪会場:吉澤隆史さん

MCC美ヶ原撮影会作品

2008年1月24日(木)~26日(土)

昨年の冬に行われました、MCC 美ヶ原撮影会で撮影された参加者の作品を掲載します。早朝はマイナス15度以下の状況下でしたが、晴れ上がり張り詰めた空気の中良い撮影ができました。



「朝光」川原浄次(岡山県) 645AFD AF105-210 mm F4.5



「地吹雪去って」林孝雄(東京都) 645ProTL C45 mm F2.8N



「春のって」石塚靖弘(神奈川県) 645AFD AF55-110 mm F4.5



● 第4回中判カメラフォトコンテスト開催

マミヤカメラクラブ/コダックフォトクラブ/日本ハセルブラッドクラブ/ペンタックスファミリー共催

テーマ：自由

応募期間：2009年4月1日(水)～7月10日(金)必着

審査員：岩本恵次先生 各クラブ事務局長

応募作品：四ツ切サイズプリントのみ/単写真のみ(作品返却は行いません)

応募資格：各クラブ、ファミリー会員

詳細は作品応募要項をお送りしてあります。ご不明な点はクラブ事務局までお問い合わせください。

● 大中判カメラ普及協会撮影会&写真塾

新緑まばゆい「上高地」

2009年5月28日(木)～30日(土) 2泊3日

受講料：48,000円(2泊5食、撮影指導料、保険料含む)

定員：40名 集合・宿泊：上高地 西系屋 TEL.0263-95-2206

講師：花畑日尚先生

溢れる紅葉そして黄葉「小国」

2009年10月24日(土)～26日(月)

受講料：43,000円(2泊5食、現地での移動交通費、撮影指導料、保険料含む)

定員：28名 集合・宿泊：川入荘 TEL.0238-64-2138

講師：鈴木一雄先生

● 尾瀬原の小屋写真撮影会/自然観察会 「花畑日尚氏と初夏の尾瀬を歩く」

2009年7月4日(土)～6日(月) 2泊3日

参加料金：28,000円(2泊5食、講師料、保険料含む)

集合・宿泊：尾瀬 見晴十字路 原の小屋 講師：花畑日尚先生

MCC ORIGINAL GEAR

ハンドメイド、オリジナル商品の為、受注生産。納期は1ヶ月程かかります。(下記の商品につきましては、現金販売のみとさせていただきます)

マミヤ645専用チェストカメラケース

ザックのショルダーに掛けて首にかかる荷重を軽減。ウェストバック型のマミヤ645専用カメラケース。ザックのショルダー部からジョイントテープで取り付けるので首や腰への負担が少なく、移動中でも速写に対応できます。

- ・マミヤ645がそのまま収まる(55-110mmレンズ付まで)
- ・カメラの出し入れが容易で速写に対応
- ・ウェストバック、ショルダーバックにもなる。
- ・信頼のラムダ社製

寸法/高18×幅25×厚13cm
 表材/強力ナイロン製
 重量/430g
 カラー/ネイビー、ブラック
 会員特別価格 15,225円
 (税抜価格 14,500円)
 実物はマミヤのロゴが入ります



MCC 3D雲台 ●なめらかな操作の小型 3WAY 雲台。

中判カメラから大判カメラまで対応できる頑丈な小型雲台です。可動部の摺り合わせ面の平面性を極限まで高めており、適度な滑らかさとトルクが得られます。

- ・大型カメラの重量に耐える頑丈さ
- ・スムーズな操作性
- ・レバー式でかさばらない
- ・プレーキレバーのストップ位置はワンタッチ変更可能

素材/アルミ削りだし
 高さ/120mm 重さ/800g
 カメラ取り付け部/60×80mm
 三脚取り付け部/φ80mm
 会員特別価格
 94,500円(税抜価格 90,000円)
 オプション:
 ネームプレート名入れ 3,000円





撮影会よもやま話 富士山奥庭撮影会 2008年10月24日(金)～25日(土)

今回の撮影会は直前までハプニング続きでした。自然相手の撮影なので少しでも良いシチュエーションを探す為、前日に花畑先生と下見に出発。

東京を車で朝早く出て河口湖町の観光課に立ち寄り紅葉の状況を聞き、最初の下見ポイントである河口湖畔に到着。ほとんど紅葉はしていないので、さあ次に出発!…。あれ? エンジンがかからない。色々試すも手立てがなくなりJAFを呼ぶと「バッテリーがいかれてますね。一応エンジンかかるようになるけど、また止めたら動かなくなるのでバッテリー交換してくださいね。」「えーっ!なぜこんなタイミングで」これから富士山の5合目まで行くのに、動かなくなるとは大変。

仕方なく富士吉田でディーラーを探しバッテリーを交換。予想外に時間がかかり終了したのは2時過ぎ。その後、遅い昼食をとっているうちに気づけば外は土砂降り、夕方まで真暗。一体何をしに前日に乗り込んだのやら。挫けそうになる気持ちをいなしながら、とりあえずメインの奥庭にだけは見ておこうと車を走らせる。何とか光があるうちに奥庭に着いたものの辺りは霧の中。それでも写真

教室で使用する写真をマミヤ ZD で花畑先生に撮影してもらおう。車に戻る頃は既に日没後。暗闇から濁った灰色のような霧が湧き出す中を宿に急ぐ。

翌日は朝5時に出発、撮影会本体の到着まではあまり時間がない。本栖湖、西湖、樹海、その他色々、猛スピードで下見をして何とか皆さんを迎える事ができました。本番は1日目が雨でしたが樹海で雨を避けながらの撮影ができ、2日目も予定が入れ替わったせいで奥庭の光線状態が午前と午後逆になってはしまいましたが晴れて撮影できほっとしています。事務局以上に尽力していただいた花畑先生には感謝感謝です。
事務局 吉澤



クラブ員情報

マミヤカメラクラブ員でもある著者が25年をかけて撮影した日本全国の塔。国宝、重要文化財の塔を地区ごとに分けて掲載。様式や特徴なども掲載。



「日本百名塔」
須磨 一彦

定価:本体3400円(税別)
中央大学出版部
042-674-2351

マミヤカメラクラブ撮影会予定

● 屋久島撮影会

雨の多い屋久島でもしっとりとした良い季節です。屋久島経験者も未経験者も秦先生の優しい指導で自然を楽しめます。

2009年6月25日(木)～27日(土)2泊3日

撮影地: 屋久島

講師: 秦達夫先生

参加費: 会員 98,000円 準会員 99,000円

定員: 20名

宿泊: シーサイドホテル屋久島

● 柵池撮影会

まさに錦秋という言葉があてはまる柵池の紅葉。柵池案内人としてTVに出演もした花畑先生の指導で秋の天上の湿原を撮影してください。

2009年10月2日(金)～3日(土)

撮影地: 柵池自然園

講師: 花畑日尚先生

参加費: 未定

定員: 30名

宿泊: 柵池ヒュッテ



コダックフォトクラブ 準会員入会キャンペーン

コダックフォトクラブ準会員に入会しませんか?

コダックフォトクラブ準会員は、マミヤカメラクラブの会員の方ならどなたでも入会できます。

2009年7月31日(金)までに入会していただきますと、コダックフォトクラブ特製カラビナリールストラップをプレゼントします。



■コダックフォトクラブ準会員

入会資格: MCC 会員

期間: 1年間

会費: 2,100円 (入会金不要)

特典: 会報「コダックフォトカプセル」のお届け(年4回)

フィルムパッケージ・キャンペーン

(フォトカプセル誌上で実施)

撮影会やフォトセミナーへのご優待

■応募先・問合せ先

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-2-9

センチュリータワー北棟 7F

TEL.03-3813-5316 FAX.03-3813-5371

MAMIYA CAMERA-PHOTO LIFE SUPPORT

マミヤカメラクラブ



写真を楽しむ・・・、
学ぶ・・・、そして集う。

写真を楽しむ、学ぶ、そして集う。

写真を通して写真を語り、撮影技術の向上を目指す方のためのクラブです。

マミヤカメラをご愛用の方ならどなたでもご入会できます。

講師指導の撮影会やクラブ員の全国フォトコンテスト、セミナーなどを実施しています。

撮影会では機材の無料貸出しがあり、使用してみたいレンズなどを試せます。

宿泊撮影会ではセミナーが開かれ講師のアドバイスが得られるほか、愛機のクリニック(点検・清掃)も受けられます。会員の方には、修理割引・オリジナルグッズ特別斡旋などの特典があります。

入会金：1,050円(消費税込み)

会費：4,200円(消費税込み) 2年会費

手続：入会のご案内(払込取扱票付き)を事務局にご請求下さい。

クラブ員特典

- クラブ誌「マミヤギャラリー」の配布
クラブ員の皆さまの写真をより多く公表する場としてのクラブ機関誌「マミヤギャラリー」を年2回配布します。
- 修理代金の割引
ご愛用のマミヤ製品の点検・修理を依頼する場合には、通常の修理代金より割引いたします。
- マミヤカメラクラブメール
クラブ主催のイベントや新製品情報など、写真に関する情報をいち早くお知らせいたします。
- マミヤオリジナルグッズの特別斡旋販売
マミヤ特製オリジナルグッズをクラブ会員特別価格でご提供させていただきます。



入会のお申し込み・お問合せは

マミヤカメラクラブ事務局

〒110-0005 東京都台東区上野 2-14-22 明治安田生命上野公園ビル 4F
TEL.03-5688-8024



マミヤカメラサービスセンター

修理をはじめオーバーホール、清掃などを専門に承ります。

また、マミヤ全機種を展示。実際に手にとって操作感や質感を確かめられるとともにお客様の個性に応じた商品選定などのアドバイスも提供しています。

また、操作上の疑問にもお答えしています。電話、ファクスでも承ります。

東京サービスセンター TEL 03-5688-8036 FAX 03-5688-8040 営業時間 9:00～18:00

大阪サービスセンター TEL 06-6541-5631 FAX 06-6541-5769 営業時間 9:00～18:00

土、日、祝日は休業

マミヤ・デジタル・イメージング株式会社

本社 〒110-0005 東京都台東区上野2-14-22 明治安田生命 上野公園ビル4F

商品・修理に関するお問い合わせは、下記へご相談下さい。

東京サービスセンター 〒110-0005 東京都台東区上野2-14-22 明治安田生命 上野公園ビル4F
TEL 03-5688-8036 FAX 03-5688-8039

大阪サービスセンター 〒550-0015 大阪府大阪市西区南堀江1-10-11 西谷ビル
TEL 06-6541-5631 FAX 06-6541-5769

修理に関するお問い合わせは、マミヤカメラ認定修理センターへお問い合わせください。

マミヤカメラ認定修理センター

北海道地区 株式会社タックカメラサービスセンター 〒060-0053 札幌市中央区南3条東4丁目
TEL 011-221-6507 FAX 011-232-3344
東北地区 M C プロテック 〒983-0841 宮城県仙台市宮城野区原町5丁目3-44 森ビル202
TEL 022-297-3348 FAX 022-256-1808
東海地区 山田テクニカルサービス 〒496-0026 愛知県津島市唐臼町大門99
TEL 0567-32-2708 FAX 0567-32-3454

※マミヤカメラ認定修理センターでは、商品の説明に関する業務はいたしておりません。

《マミヤホームページ》 <http://www.mamiya.co.jp>

この会報誌は最高級の美術印刷技術 HBP-700 を使用しています。